

180 愛する魂よ自分を飾れ。

1. コラール合唱

愛する魂よ自分を飾れ。
罪の暗いほらあなを去り
明るい光に來たり榮光に輝け
癒しと恵みに満ちたあなたを
客として迎えます。
天国を治める方は
あなたの中に宿る。

2. アリア テノール

目覚めよ汝が魂よ
汝が救い主は扉を開きたもう。
開けすぐに、 すぐに開け。
心の扉を開け
われを忘れるほどの喜びに包まれて、
言葉にならぬ喜びを
イエスに伝えようとしても。

3. 朗唱、 コラールアリオーソ、 ソプラノ

聖なる晩餐の賜物は比類ないものである。
世の宝はむなしいものである。
神の子こそ受けるべきであり、
かく言う。 ああわが心飢え乾いて
人の子らよ主の慈しみを願うのか。
わたしは涙して慕いもとめる。
尊き糧を求めうるのか。 命の水を求めめるのか。
神と共に、 神により、
神と一つになることを願う。

4. 朗唱、 アルト

わが心に恐れと喜びあり。
恐れが起こる時、
神の高みを望み、
奥義の深さを憶え、 理性でもはかりえない。
神の霊だけ言葉で教える。
信じて委ねる時われらは養われる。
喜びの思いが強まるのは、
御心に触れてその愛を知る時。

5. アリア、 ソプラノ

命かがやく太陽よ、 わがすべてでいます主よ、
あなたはわたしの真意を見てとり、
いまだに弱いわたしの信仰をさげすんだりはされない。

6. 朗唱、 バス

主よまことの愛を
み子が贈られたその愛を、 むなしくしないで。
愛の霊を燃え立たせ
天を目指して信仰の道を歩み
かくて主の愛を常に確信する。

7. コラール

イエスマことのいのちのパン
むなしく、 まちがう私をゆるし
聖餐にあずからせて
魂の食物をうけ
あなたの愛を味合わせてください。
天の客としても受けいれてください。

180 魂よ自分を飾れ。 1724年10月22日

三位一体第20主日

エペソ5;15-21 マタイ22;1-14

イエスと弟子たちの最後の晩餐を王の婚宴の話と結び付け、
礼服を着ないで来た人を外の闇に放り出せという譬えによって
信仰上のふさわしさをパンと葡萄酒にあずかる要件と教えている。